

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 図書館内部改修工事
-------------------	------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	2	生涯学習環境の充実
主要な施策	3	図書館機能の充実
事務事業番号	006	事務事業コード 51123006 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	図書館内部改修工事
------	------	------------	-----------

部 名	教育部	グループ名	図書館
-----	-----	-------	-----

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> 図書館の利用者
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> 児童書の寄附等で児童室が手狭になったため、事務室を児童室に改修するなど児童室のスペースを整備拡充した。事務室の改修に伴い、事務機器を一部移設した。
目指す姿 (成果)	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> 児童室の整備拡充により、本をとおして親子のふれあいの場や読み聞かせボランティアの活動の場などとしての利用など、利用者サービスの向上と利用拡大を図ることができた。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	書棚の増加	本	目標値	7				
			実績値	7				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	300	0	0	0	0	0
合 計				300	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	6,470	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		6,470	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について

今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である	→	妥当である理 由、妥当では ない理由は何で すか？	市民に適切な図書館サービスを提供するため必要である。
		妥当ではない			

2. 事務事業の成果について

成果はあがって いますか？	→	成果があがっている	→	成果があがって いる理由、あが らない理由は何 ですか？	整備拡張の改修により、サービスの向上につながっている。
		どちらかといえばあがっている			
		成果があがらない			

3. 事務事業の成果向上について

成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させることができる	→	どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？	整備した児童室スペースの活用方法を検討し利用拡大を図る。
		少し向上させることができる			
		向上させることはできない			

4. 事務事業の経済性・効率性について

成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる	→	どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何ですか？	限りがあるスペースの中での最小限の整備拡張であり、これ以上の削減は難しい。
		削減できない			

担当グループによる評価

終了	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	児童書の寄附等で児童室が手狭になったため、事務室を児童室に改修し整備する平成21年度のみのも事業である。
----	----------------------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考	
----	----	--

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）